

高校生のための出張講義「知のフロンティア」講義一覧（社会科学）

NO.	学部・学科	担当教員	講義テーマ	講義内容
1	国際文化学部 比較文化学科	大内憲昭	日韓・日朝関係を考える	朝鮮半島には、第2次世界大戦後、残された唯一の分断国家である大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国が存在しています。日本と南北朝鮮の間には、日本の植民地統治問題、歴史認識問題、領土問題等、解決しなければならない問題が山積しています。解放（終戦）70年、日韓国交回復50年を経た日本と南北朝鮮との関係を考えたいと思います。
2	社会学部 現代社会学科	石川時子	女にとっての福祉	女性として生まれることが多大な不利益となる世界は、過去のものではありません。世界にある女と福祉の問題と、日本における女性福祉、社会保障について考えていきます。
3	社会学部 現代社会学科	井田瑞江	社会学入門 ～ベトは家族か？～	私たちが身近なものである「家族」。この「家族」を社会学という道具で分析すると、今まで気づかなかったことが見えてきます。社会学する楽しさを体験してください。
4	社会学部 現代社会学科	浦野和彦	職業労働を社会学の視点から考える	職業労働の3つの要素をとりあげ、労働や仕事が社会学からみて、人間にとってどのような意味をもっているのか考えてみたいと思います。
5	社会学部 現代社会学科	大澤善信	予言の自己成就 偏見が作りだす社会的現実	わたしたちが対処して判断したり行動している「現実」とは、実のところわたしたちが「現実」だと思い込んでいるものである。「予言の自己成就」とは、フィクションが「現実」になるという怖くて不思議なメカニズムである。
6	社会学部 現代社会学科	渡谷昌史	社会的養護 一保護した子どもの育ちを支える	今、この日本において、何万人という子どもたちが、自分の生まれ育った家庭を離れて生活しています。そうした子どもたちの育ちをどう支えればよいのか、里親養育といわれるものを通して学びます。
7	社会学部 現代社会学科	佐々木洋成	子どもの格差と教育の不平等	格差社会に中心的な問題は、所得や雇用の格差とともに、格差の固定化と教育である。子どもの格差と教育の不平等について考えていく。
8	社会学部 現代社会学科	中村克明	図書館を使おう	自分の市や町に図書館があることを知らない人も多いと思います。でも、たいいていの市にはちゃんと図書館があるので。図書館のこについて少し勉強しましょう。
9	社会学部 現代社会学科	西村貴直	貧困問題と生活保護	非正規雇用の拡大や高齢化の進展とともに、貧困問題が深刻化しています。貧困状態に陥ったとき、人々の生活を最後に支えてくれる生活保護のしくみを正しく理解していきましょう。
10	社会学部 現代社会学科	橋本和孝	ベトナムと日本の繋がり-社会学的に考える-	ベトナムは、代表的な親の国です。日本でもベトナムブームを経験してきました。近世以来のベトナムと日本の関わりを、社会学的に考えます。
11	社会学部 現代社会学科	副田あけみ	高齢者と孤立死	少子高齢社会にはさまざまな社会的課題がありますが、「孤立死」もその一つです。「孤立死」はなぜ起きるのか、防いでいくにはどうしたらよいか、一緒に考え見ませんか。
12	社会学部 現代社会学科	麦倉泰子	共生社会のあり方をさぐる 一病と障害をめぐる考察	病を患う当事者の経験、患う人を支える対人援助の仕事のありようを理解することを通じて、現代社会における「支え合う」ことの意義について理解することを目指す。さらに、障害者に対する差別と排除のメカニズムを理解することによって、共生社会のあり方を模索する。
13	社会学部 現代社会学科	山口稔	地域福祉とは何か	地域社会の生活問題や社会福祉のあり方が大きく変化しつつある今日、地域福祉は社会福祉のなかで中心的役割を果たすことが期待されています。地域社会で暮らすこと、そして地域福祉とは何かとを考えます。
14	社会学部 現代社会学科	湯浅陽一	環境問題を「社会学」で考える	環境問題はどのような社会問題であり、どのようにすれば解決できるのか。環境社会学の視点を通して、環境問題への理解を深めます。
15	社会学部 現代社会学科	吉瀬雄一	耳を澄ませれば社会が見える	今の世の中、複雑すぎて何が何かわからない。そう思っている君たちへの贈り物。そと耳を傾けるだけで世界が見えてくる。みんなで社会学しよう！
16	経済学部 経済学科	黒川 洋行	外国為替レート変動のメカニズム	日々刻々と変化する外国為替レートの変動要因をさぐります。金融グローバル化時代におけるヘッジファンドなどの機関投資家の投資活動を中心に政治経済学的に分析していきます。
17	経済学部 経済学科	新岡 智	アメリカ経済のダイナミズムとは何か	アメリカ経済は他国にないダイナミズムを持っていると考えられている。そのダイナミズムとは一体何なのか。そのことを明らかにします。
18	経済学部 経済学科	林 博史	どのようにして戦争を防ぐのか	戦争は偶然起きるものではありません。政治、経済、文化など様々な角度から、戦争を起こさない工夫を考えてみましょう。
19	経済学部 経済学科	宮本 守	おカネの不思議	私たちが毎日買い物などに使っているおカネ（紙幣）はよく考えてみると、紙切れにすぎません。なぜ紙切れを人々は受け取るのでしょうか。
20	経済学部 経済学科	谷野 勝明	私たちの暮らしと経済学	私たちの暮らしは経済のあり方に大きく影響されています。そうした問題を教科書に出てくるアダム・スミスやマルクスがどう見ていたのかを考えてみます。
21	経済学部 経済学科	吉田 千鶴	家族と就業の経済学	家族にとって生活の基盤となる就業や家事・育児などの家庭内の活動、それらと政策など社会経済環境との相互の関係を扱う労働経済学を紹介します。
22	経済学部 経済学科	吟谷 泰裕	経済という生き物を解剖しよう	この講義では、経済という生き物の正体を明らかにし、それが病氣（不況）になったり元気（好況）になったりするしくみを考えます。同時に経済学と経営学の違いについても説明します。
23	経済学部 経済学科	中泉 拓也	ゲーム理論と実験経済学の招待	ミクロ経済学の最先端の研究分野であるゲーム理論と実験経済学について、実際の体験も含めて解説します。
24	経済学部 経済学科	野口 雄一	市場のメカニズムについて	市場メカニズムについて、正しい理解をしていただくための講義をします。
25	経済学部 経済学科	野中 康生	経済活動と情報 ～ネットワークの実験～	私達の日常生活は常に情報の問題に直面しています。そしてインターネットに代表されるIT（情報技術）の発達はこの問題に大きな影響を与えています。本講義ではネットワークの実験を通して経済活動における情報の重要性とIT化の進展が与える影響について考えます。
26	経済学部 経済学科	名武 なつ紀	日本経済の歩みを知る	関東学院大学は開港地の地・横浜にあります。本格的な対外貿易の開始から、日本経済がどのように歩んできたのか振り返ります。
27	経済学部 経済学科	石井 穂	経済学の歴史から読み解く市場と社会	競争・規制緩和と格差の拡大、政府の果たすべき役割など、今日改めて問われている市場と社会との関係を、経済学の歴史を通じて読み解きます。
28	経済学部 経済学科	山本 勝造	グローバル経済について考える 一国際経済学へのいざない	現代の日本経済について考える際に、世界との関わりを無視することはできません。貿易や為替レートなどが日本経済にどのような影響を与えるのか？一緒に考えていきましょう。
29	経済学部 経済学科	上代 雄介	ゲーム理論で考える経済の仕組み	ミクロ経済学という分野で、近年必要不可欠な道具となっている理論にゲーム理論があります。そのゲーム理論の考え方について解説します。
30	経済学部 経済学科	鴨野 洋一郎	経済史から「近代」のルーツを探る	ヨーロッパやアメリカの歴史を経済という視点から見ることで、「近代」が誕生していくプロセスを学びましょう。
31	経済学部 経済学科	田中 総一郎	格差と貧困の経済学	日本の社会問題として近年関心が高まっている、所得格差や貧困について経済学の視点から考えます。
32	経済学部 経済学科	細矢 祐誉	経済の理論的分析	経済を数理モデルを用いて分析する手法について、歴史的および実証的意義に触れながら紹介し、具体的にいくつか例を挙げて説明します。
33	経済学部 経済学科	神野 真敏	人の受け入れの効果	少子高齢化により労働力不足が危惧され、海外からの受け入れに好意的な声も聞こえてきています。その一方で、学生は自分の就職先が奪われるのではないかと否定的な声も聞こえてきています。一体どちらの効果が上回るのでしょうか。経済学的に一緒に考えてみましょう。
34	経済学部 経済学科	平野 敏弘	記述統計入門	データが収集されると、次にデータの統計分析を行います。統計分析は、記述統計と推測統計に分けられます。本講義では記述統計の基本的な内容について解説します。
35	経済学部 経済学科	石坂 貴美	貧しい国の人びとの暮らしと経済学	世界には1日2ドル以下で生活する人が多くいるといわれています。これらの貧困に苦しむ人びとの暮らしに触れ、貧困問題において経済学が果たす役割を考えます。
36	経営学部 経営学科	殷 燕軍	アジア地域を考える 一多民族国家中国を例に	世界、またはアジア地域はもともと多文化、多民族的なものである。一つの多民族国家の実情を例にして、地域的な多様性を理解する。
37	経営学部 経営学科	小山 巖也	会社って何だ？ 一経営学への誘い	皆さんが将来働くことになる会社って、どんなところなのでしょう？そこでは何が行われているのでしょうか？具体的な事例をもとにしながら考えていきたいと思います。
38	経営学部 経営学科	小山 巖也	人をやる気にさせるには？ 一モチベーション入門	組織は人々の集まりです。組織の中で、人はどういとうきにやる気を出し、どういとうきにやる気をなくすのかについて考えていきます。
39	経営学部 経営学科	小山 巖也	クイズで学ぶ経営学	会社につながるクイズを通して、会社の戦略や組織について平易に解説していきます。

高校生のための出張講義「知のフロンティア」講義一覧（社会科学）

NO	学部・学科	担当教員	講義テーマ	講義内容
40	経営学部経営学科	四宮 正親	日本の経済発展と企業家	企業家は、極端に言えば、新しいビジネス・モデルを創り出し、日本経済の発展に貢献する進取の気概に溢れた経営者たちのことです。そのような企業家たちの営みの積み重ねを理解してもらうことで、日本経済の発展についての理解を得るとともに、企業家の社会的な役割を認知してほしいと思います。
41	経営学部経営学科	辻 聖二	経営と経済って同じじゃないの？	個々の人や組織に焦点を当てた経営学と、市場メカニズムに基づく原理原則を中心に据えた経済学の違いを、具体例を挙げて解説します。
42	経営学部経営学科	福田 敦	地域社会と商店街	少子高齢化・人口減少社会の中で、身近にある商店街の役割を再考する動きが広がっています。元気な商店街の取り組み事例と行政による新たな支援策について紹介します。
43	経営学部経営学科	渡邊 光一	意思決定	複雑な事象・課題に対して紙と鉛筆だけで合理的な意思決定ができるとは限りません。そこで、意思決定のためのコンピュータを利用した方法論の原理(アルゴリズム)を学びます。
44	経営学部経営学科	天野 恵美子	マーケティングと私たちの生活	企業が作り出すモノやサービスなくして、私たちの消費生活は成り立ちません。私たちの生活と密接な関わりを持つ企業のマーケティング活動について学びます。
45	経営学部経営学科	渡辺 竜介	「経営」を身近に考えよう ～クラスで舞台を出すことになったら？～	損益分岐点分析の解説を中心に講義しながら経営学を学ぶ意義を説明します。
46	経営学部経営学科	佐藤 志乃	消費者行動とマーケティング	マーケティングの基本的な考え方について解説した上で、企業が消費者のニーズを把握し、マーケティング戦略に活かしていくプロセスについて学びます。
47	経営学部経営学科	水谷 文重	民間非営利組織と会計	NPO法人などの民間非営利組織(NFP)にお金は関係ないと思いませんか？NFPとお金の関係を会計を中心に学びます。
48	経営学部経営学科	赤尾 充哉	人と人が出会うとき、組織の問題が生まれる	私たち人間は、日常のさまざまな場面で他の人と協力して生きています。協力がどうしたらうまくいくか、それを組織理論をつづけて考えます。
49	経営学部経営学科	江頭 幸代	「原価」って何？	お店に並んでいる商品やレストランで食べる料理は、作るのにどれくらいのお金がかかっているのでしょうか？そして会社はいくら儲かっているのでしょうか？そのメカニズムを説明します。
50	経営学部経営学科	真保 智行	日本史を経営学で考える	高校生にとって身近な歴史を、経営学の考え方を活用して、解釈することを試みます。
51	法学部 地域創生学科	浅野 俊哉	「社会や政治をよくする」って？ 共生社会論の立場から	「共生」という言葉は時折耳にしますが、私たちはそれを安易に考えていないでしょうか。共生社会の本来的な意味を問い直しながら、私たちが、他の人々や自然との間で新しい共同性を創造していく際の手がかりを考えていきます。
52	法学部 地域創生学科	出石 稔	個性豊かな地域社会の実現に向けて —地方自治とは—	皆さんの暮らす地域には、それぞれ個性があります。この地域のことは国会議員や官僚が決めるのではなく、地域の事情を最も理解している住民や住民代表の首長・地方議会の総意で実行することが大切です。地方分権時代の「地方自治」のダイナミズムを感じましょう。
53	法学部 地域創生学科	大原 利夫	高齢化によって日本はどくなる？	日本社会では、高齢者の人口が急増し、年金、医療、介護などの社会保障の重要性が増しています。この社会保障に関する課題について、様々な角度からお話をしてみたいと思います。
54	法学部 地域創生学科	籠谷 和弘	観光による地域活性化—その可能性と課題	「B級グルメ」を使ったり、「ゆるキャラ」が登場したり、地域を活性化させるための取り組みには様々なものがあります。講義では、地域活性化の取り組みの中でも観光客を増やすための活動に焦点をあて、現在の状況と課題を紹介いたします。
55	法学部法学科	鈴木 恵	悪質商法はどうして悪質なのか	マルチやキヤッチセールス、訪問販売などは、しばしば悪質商法とよばれます。これらの問題点を検討しながら、契約法の基礎について学びます。
56	法学部法学科	高瀬 幹雄	Eと100円ショップの国際化	国際問題を考える際に、私たちの日常生活が諸外国の生活とどのようにかかわっているのかについて目を向ける必要があります。近年、日本人が大好きなEと100円ショップの展開がアジアの人々の産業や生活に大きく関わっていることが注目されています。これから日本の国際化を考えましょう。
57	法学部 地域創生学科	徳永 江利子	児童虐待 —子どもを守るためにできること—	児童虐待から子どもを守るために、法は何ができるのか、子ども施設に保護するだけでは、問題解決になりません。本講義では、なぜ児童虐待がなされるのか、子育てをめぐる問題まで視野を広げて、法的観点から児童虐待を考えます。
58	法学部法学科	烏澤 円	臓器売買はなぜ「違法」なのか？	臓器売買を禁じる法律の是非をめぐる議論を検討することで、法がどうあるべきかを掘り下げて考えることの重要性を学びます。
59	法学部法学科	原口 佳誠	憲法と日本社会 —「個人の尊重」を求めて	日本国憲法は、その最も大切な価値として「個人の尊重」を掲げています。「人ひとりだけがええのない価値をもつ」という憲法の理念が、日本社会でどのようにいかされ、あるいはまだいかされていないのか、社会のさまざまな例から考えてゆきましょう。
60	法学部法学科	藤田 潤一郎	地方自治体から考える日本の政治	いま日本の政治はさまざまな問題に直面しており、国だけでなく私たちの住む地方自治体も行政や財政面で問題を抱えています。そこで、身近な地方自治体の行政を素材に、日本の政治を少し考えてみましょう。
61	法学部法学科	本田 耕一	貸したお金を返してもらえないときは、どうしたらよい？	貸したお金を返してもらえないときは、どうしたらよい？この種の争いをめぐってはさまざまな解決制度がある。当事者の話し合いで解決をめざす和解、当事者の話し合いを中心にした裁判所の調停委員会が解決に助力してくれる調停、法律による解決をはかる裁判などである。和解や調停も実社会では大変大きな役割を果たしているが、それは最後の手段として裁判が控えていることも見逃さない。これらの制度をザクザクと見てみよう。
62	法学部法学科	本田 直志	自由貿易と平和	現代の世界貿易は自由・多角・無差別が原則になっています。関税を低くして、輸出入に妨げになる貿易障壁を取り除き、差別なく、多くの国との間で貿易をしよう、という原則です。この原則を運用しているのがWTO(国際貿易機関)です。この原則は、悲惨な戦争を繰り返さない、という望みから生まれてきました。この原則が生み出した背景と仕組みについてお話しします。
63	法学部法学科	松谷 秀祐	約束について、法律的に考えてみよう	人の人との約束(契約)に関するルールを素材として、法学とはどのような学問か、法学部とは何を学ぶところなのか、さらには日常生活において法を意識することの大切さについて学習します。
64	法学部法学科	三原 園子	株式会社をつくってみよう	株式会社を設立するにはどのような手続をとる必要があり、資金はどのくらい必要か、また会社の名称はどのようにつけばよいのか、について考えてみましょう。
65	法学部法学科	宮本 弘典	裁判員時代の刑事法	司法制度「改革」は刑事司法の何を「改革」したのでしょうか？今なお冤罪・誤判が絶えず、警察・検察の不祥事も絶えません。これらの問題に焦点を当てながら、この国の刑事裁判の特殊性をご紹介します。
66	法学部法学科	武藤 達夫	国際法・国際人権法はなぜ必要か ～国際法と国内法の相違から考える～	国際法の成り立ちや仕組みを分かりやすく説明しながら、国際法と国内法の相違や国際法の機能などについて講義します。さらに人権の分野を例にとって、国際法・国際人権法が必要とされる理由について日本や世界のさまざまな観点から考察します。
67	法学部法学科	村上 裕	法と正義の女神(Justitia)	法が追い求める価値としての正義を表す図像「正義の女神」とその持ち物(秤、剣、目隠し)から、ヨーロッパにおける正義観を考察してみましょう。
68	法学部法学科	吉田 仁美	裁判員制度とはどんなものか	裁判員は、選挙人名簿から選ばれているため、だれでも選ばれる可能性があります。裁判員制度はどのような制度なのか、また、どのような利点や問題点があるのかについて学びます。
69	法学部法学科	川島 健治	どういときに、どうい行為をしたら犯罪になるのか	みなさんは、毎日のように犯罪報道を見たり聞いたりしていると思いますが、そもそも、どうい状況で、どうい行為をしたら犯罪になるのでしょうか。講義では、犯罪とは何かということをお話しします。
70	法学部 地域創生学科	志村 武	民法と高齢社会 —成年後見制度について	日本の法律の中で最もわれわれの日常生活に密接に関係している基本法で、最も条文数の多い民法(1条～1044条)。そして現在急激に進展する日本の高齢社会で、お年寄りや障害者をもった人がお金の財産を取られずに自分らしく幸せに暮らしていくために民法の中に規定されている成年後見制度。成年後見制度の基礎を学ぶことによって民法やわれわれが今生きているこの社会について考えてみよう！
71	法学部法学科	松原 哲	事故と法律：被害者の法的救済を中心に	交通事故、医療過誤、欠陥商品事故、学校事故、名誉・プライバシー侵害、公害、各種ハラスメント等における加害者の損害賠償責任について講義します。被害者が法律に基づいて一定の行動をしないと、誰も助けてくれませんよ。
72	法学部 地域創生学科	牧瀬 稔	地方自治体を取り組む地域創生に向けた取り組み	地方自治体を取り組む状況が大きく変化しています。人口減少や少子高齢化の進展、地方分権に伴う国等からの権限の移譲、そして披露する地域など多々あります。これらの課題に対応するため、地方自治体は地域を構成する様々な主体と協働し、政策展開に取り組んでいます。地域の課題解決に向け、かつ地域創生に取り組むさまざまな事例を紹介します。

高校生のための出張講義「知のフロンティア」講義一覧（社会科学）

NO	学部・学科	担当教員	講義テーマ	講義内容
73	人間共生学部 共生デザイン学科	立山徳子	都会の人は孤独なの？	都市で生活すること。それは地方で生活すること、どのような違いがあるのでしょうか。たとえば、都市の方が人が多い、交通網が発達している、都市の方が、犯罪が多いのでは？また都市では新しいファッションや文化が生まれる・・・などなど、いろいろなのが考えられますね。ここでは、都市で生活する人と地方で生活する人とのおつきあい関係（パーソナル・ネットワークと言います）を比較し、都市の人がどのようなおつきあいをし、どのようにおつきあいを広げていくのかを紹介します。